

## ☆第34回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 出場



松山東雲高等学校 2年

宮島 <sup>みりゅう</sup>美瑠さん

(大洲北中学校出身)

宮島さんは、令和7年12月に兵庫県で開催された「第34回全日本高等学校女子サッカー選手権大会」に出場し、チームにとって約10年ぶりとなる1回戦突破に貢献しました。

サッカーを始めたのは小学1年生の頃。5学年上のお兄さんがプレーする姿に憧れたことがきっかけでした。小学2年生の時には、所属チームの試合でベンチ入りできなかった悔しさを経験し、「いつか全国大会に出場したい」という思いを抱くようになります。中学校でもサッカー部に所属し、女子部員が1人という環境の中でもレギュラーとして活躍。市郡総体では優勝を果たしました。

現在は週6日、1日2時間のハードな練習にも「サッカーは楽しい」と笑顔で話す宮島さん。大洲市の自宅から毎朝6時の始発列車で登校し、帰宅は夜10時頃になる日々を送っています。毎日の送迎やお弁当作り、帰宅を待って一緒に夕食を取ってくれるなど、支えてくれるお母さんへの感謝も口にしました。

全国大会では緊張もありましたが、家族の応援に背中を押され、普段どおりの力を発揮。1回戦突破を果たした一方で、2回戦では前回大会準優勝の強豪・神村学園に敗れ、「とても悔しかった」と振り返ります。

「どんな相手にも、ドリブルだけは負けたくない」と力強く語る宮島さん。チームは現在、愛媛県の高校総体と選手権で2連覇中です。今年は“ダブル3連覇”を目標に、チーム一丸となって挑戦を続けています。

## HighSchool NOW Vol.112 長浜高等学校

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

長浜高校の岡本芽依<sup>めい</sup>です。私は現在、縄跳び競技に取り組んでいます。縄跳びを始めたきっかけは、幼稚園の頃、父がやっている縄跳びの教室に行ったのが始まりです。また、競技を始めたのは小学4年生の時、本気で縄跳びに打ち込みたいと思い始めました。

そして、今年の夏に中国で行われるアジア大会に出場します。私の強みは努力をし続けてきた縄跳びが大好きだということです。このアジア大会で競技を引退するということを決めていますが、今までしてきた努力、そして大好きな縄跳びを思う存分に楽しんで上位入賞を目指します。

最後に、私を信じて好きなことをさせてくれた両親や、いつも応援してくれる方たちに感謝の気持ちを忘れずに、全力で取り組んでいきます。応援よろしくをお願いします。



一回は帝京第五高等学校からですー